

2026 海員春闘 全国各地で現場集会を開催

組合員の意見を集約 海でつながる仲間の力!未来を動かす海員春闘

2026年の海員春闘（労働協約改定）は、要求書を策定するにあたり、1月6日から2月16日までの大衆討議期間中、全国各地の現場組合員の意見集約を行うため、訪船や集会を実施し、外航・内航・沿海・港湾・水産それぞれの部門の意見をまとめ、現場と執行部門の意思疎通・共通認識を図った。また、現場組合員の意見集約は、2月17日に開催された第81年度外航部委員会、水産部委員会、国内部委員会それぞれの委員会で論議され、各部門での労働協約改定闘争方針が承認された。関東地方支部管内の各支部（新潟支部・三崎支部・静岡支部）の労働協約改定要求案に対する主な意見・要望は次の通り。

三崎支部=主な意見・要望

三崎支部の担当船は、遠洋漁船が多く、船種は遠洋マグロはえ縄漁船、海外まき網漁船、メロ底はえ縄漁船、カニ籠漁船、その他、違法漁船を取り締まる漁業取締船など水産部門の会社を担当している。

今年度の労働協約改定闘争に向けた大衆討議期間中は、漁業取締船および鹿児島県枕崎港に入港した海外まき網漁船の訪船や、洋上で操業中の遠洋マグロはえ縄漁船などへメール連絡を実施し、労働協約改定闘争に向けた要求内容を説明した。

主な意見・要望は▽退職金規定は基本給が反映されない制度となっていることから、基本給と連動する退職金規定の要求をしてほしい▽司厨長は限られた食料金で柔軟に対応しているが、現在も食料の高騰が続いており、食料金の引き上げ要求は必要不可欠▽公共交通機関の運賃も上昇しているため、帰省旅費の上限金額引き上げを要求してほしい—などの声が多かった。

「海員だより」